

## コラム、どうする？中心市街地



NPO金沢マチナカ大学  
「タテマチ大学」代表  
宮川 真也

### 商店街を元気にする新しい大学 ～タテマチ大学の取組み～

時は2009年3月。所は金沢市タテマチ商店街。ファッションストリートの真ん中に「タテマチ大学」を開校しました。学校を模した空間は“教室”。黑板があり、掲示板があり、昔懐かしい学校机と椅子があります。ここで誰でも無料で受けられる“授業”をしています。“部活”や“ゼミ”もやっています。先生や顧問は、経営者、芸術家、芸妓、政治家、店主、旅人、モデルといった方々です。みなさん無報酬で先生を務めてくださっています。

タテマチ大学のミッションは2つ。1つめは中心商店街の元氣をつくること。街を訪れる目的は「買う」「食べる」

が主です。わたしたちはそこに「学ぶ」という目的を加えました。「買う」「食べる」の底上げには限界を感じていました。教室を構えたのは、学校の授業のように常にそこにある状態にしたかったからです。一過性のイベント集客ではなく、継続して街を訪れる機会をつくらなければ街離れはストップできないと考えています。

もう1つのミッションは、若者が人生を考える機会をつくること。いろんな分野で活躍する方々の仕事や人生にふれることが、若い人たちの目的意識の向上につながればと思っています。学生は自分の将来を考えるヒントを得る。一般の社会人は日々のモチベーションを上げる。わたしたちには「この街の最大の資産は若い人たち」というコンセプトがあります。中心商店街の活性化も、若い人の活力なくして創出できないと思っています。

2009年11月末現在、授業は26回を数えました。部活動とゼミは毎週のように開催しています。参加延べ人数は3000人を超えました。今後の目標は持続することです。このコラムのタイトルは「どうする？中心市街地」とありますが、わたしたちなりの「こうする！」を継続的にこなうことが最大の目標です。市民と市街地を変えるのは一朝一夕のアイデアではなく、持続可能なプロジェクトの遂行だと思います。



地域経済ニュースレター第86号

2009年12月25日発行

発行／金沢大学人間社会学域地域経済情報センター 金沢市角間町（☎920-1192）☎（076）264-5438  
編集／地域経済情報センター 地域経済ニュースレター編集委員（碓山洋、神谷浩夫、安嶋是晴、神崎淳子）  
印刷所／金沢市中村町28-14 榎谷印刷 ☎076-242-7267